



I 第26週の発生動向 (2019/6/24~6/30)

1. 水痘については、三戸地方+八戸市保健所管内で**注意報**が継続しています。また、弘前保健所管内では定点当たり報告数が0.78となり、注意報基準値(1)に近づいています。
2. 手足口病については、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。また、弘前保健所管内では定点当たり報告数が4.67となり、警報開始基準値(5)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. 伝染性紅斑については、弘前保健所管内で**警報**が**解除**されました。上十三保健所管内では**警報**が継続しています。また、東地方+青森市保健所管内では定点当たり報告数が1.75、五所川原保健所管内では1.60となり、警報開始基準値(2)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
5. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
6. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型5人、B型7人でした。

II 第26週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	9	0.69	2	0.13					1	0.11			12	0.18	2
	RSウイルス感染症	1	0.13	4	0.44	8	0.80	1	0.20	2	0.33	1	0.25	17	0.40	13
小児科	咽頭結膜熱	4	0.50	2	0.22	5	0.50	6	1.20	2	0.33	3	0.75	22	0.52	6
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1	0.13	11	1.22	16	1.60	2	0.40	7	1.17	1	0.25	38	0.90	-28
	感染性胃腸炎	33	4.13	12	1.33	42	4.20	49	9.80	13	2.17	11	2.75	160	3.81	-24
	水痘			7	0.78	11	1.10	1	0.20					19	0.45	7
	手足口病	18	2.25	42	4.67	59	5.90	2	0.40	44	7.33	1	0.25	166	3.95	44
	伝染性紅斑	14	1.75	4	0.44	11	1.10	8	1.60	10	1.67	2	0.50	49	1.17	-4
	突発性発しん	3	0.38	2	0.22	8	0.80	1	0.20	3	0.50	2	0.50	19	0.45	-1
	ヘルパンギーナ	2	0.25	6	0.67	2	0.20			3	0.50			13	0.31	-4
	流行性耳下腺炎					6	0.60	4	0.80	2	0.33	1	0.25	13	0.31	2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00	1	0.33	1	0.50							4	0.36	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00					1	0.17	-1
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										9	9.00		9	1.50	4
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

エボラ出血熱 (一類全数把握対象疾患)

エボラ出血熱はエボラウイルスによる感染症であり、感染すると2~21日の潜伏期間を経て、発熱、頭痛、筋肉痛などの症状を呈し、次いでおう吐や下痢、出血などの症状が現れます。

エボラ出血熱は、エボラウイルスに感染し、症状が出ている患者の体液等(血液、分泌物、吐物・排泄物)やこれらに汚染された物質と接触した際、ウイルスが傷口や粘膜から侵入することで感染します。一般的に、症状のない患者からの感染はほとんど起こりません。空気感染もしません。

2018年8月以降、コンゴ民主共和国では、2000名を超える患者が発生しています。主として患者に直接接触することにより感染すること、流行地域はアフリカに限定されていることから、現時点では国内で発生するリスクは低いと考えられますが、国内での発生に備えて体制が整えられています。


○詳しい情報はこちらをご覧ください [エボラ出血熱とは \(国立感染症研究所 HP\)](#)



図: エボラウイルスの透過型電子顕微鏡画像 (デジタルカラー処理)

出典: CDC 米国疾病予防管理センター



エボラ出血熱とは 

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市 2 人、八戸市 1 人 （2019 年計：118 人）
- ・レジオネラ症（四類全数把握対象疾患）：弘前 1 人 （2019 年計：7 人）
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：弘前 1 人 （2019 年計：4 人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

無菌性髄膜炎疑い患者（咽頭ぬぐい液、6/5）・・・インフルエンザウイルス B（ビクトリア系統）：青森市 1 人
 急性脳症患者（ふん便、6/12）・・・HHV6B：弘前 1 人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019 年第 23 週～第 26 週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
23	ウイルス性肝炎 1 人 梅毒 1 人	水痘(入院例) 1 人 破傷風 1 人	つつが虫病 1 人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人			
24	梅毒 1 人 百日咳 1 人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症 1 人 急性脳炎 1 人	百日咳 1 人			侵襲性肺炎球菌感 染症 1 人
25	つつが虫病 1 人 梅毒 1 人 百日咳 1 人				つつが虫病 1 人 侵襲性肺炎球菌感 染症 1 人	
26		レジオネラ症 1 人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症 1 人				

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2019 年第 23 週～第 26 週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
23		1	1	1	1	
24	1				2	
25	1			1		
26	2		1			

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第25週までの累計）

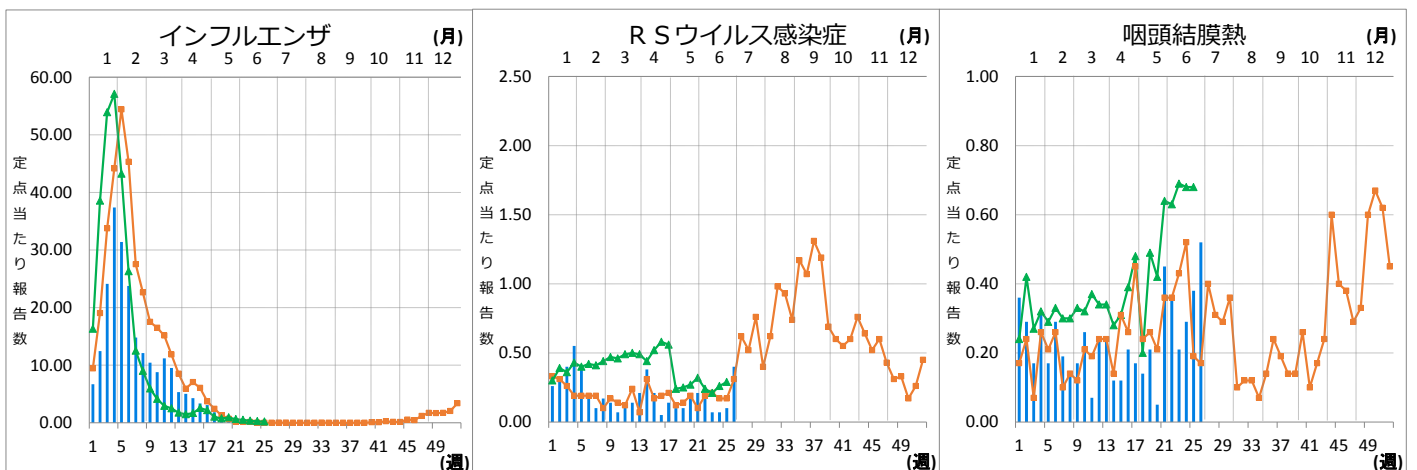
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	9942	3	44	856	17	10	245	235	5	11
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	37	4	77	141	62	2	1	20	2
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	763	4	412	150	912	35	480	8	86	447
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	554	22	300	22	1951	232	3	3105	68	50
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	37	7679	1848	638	16					

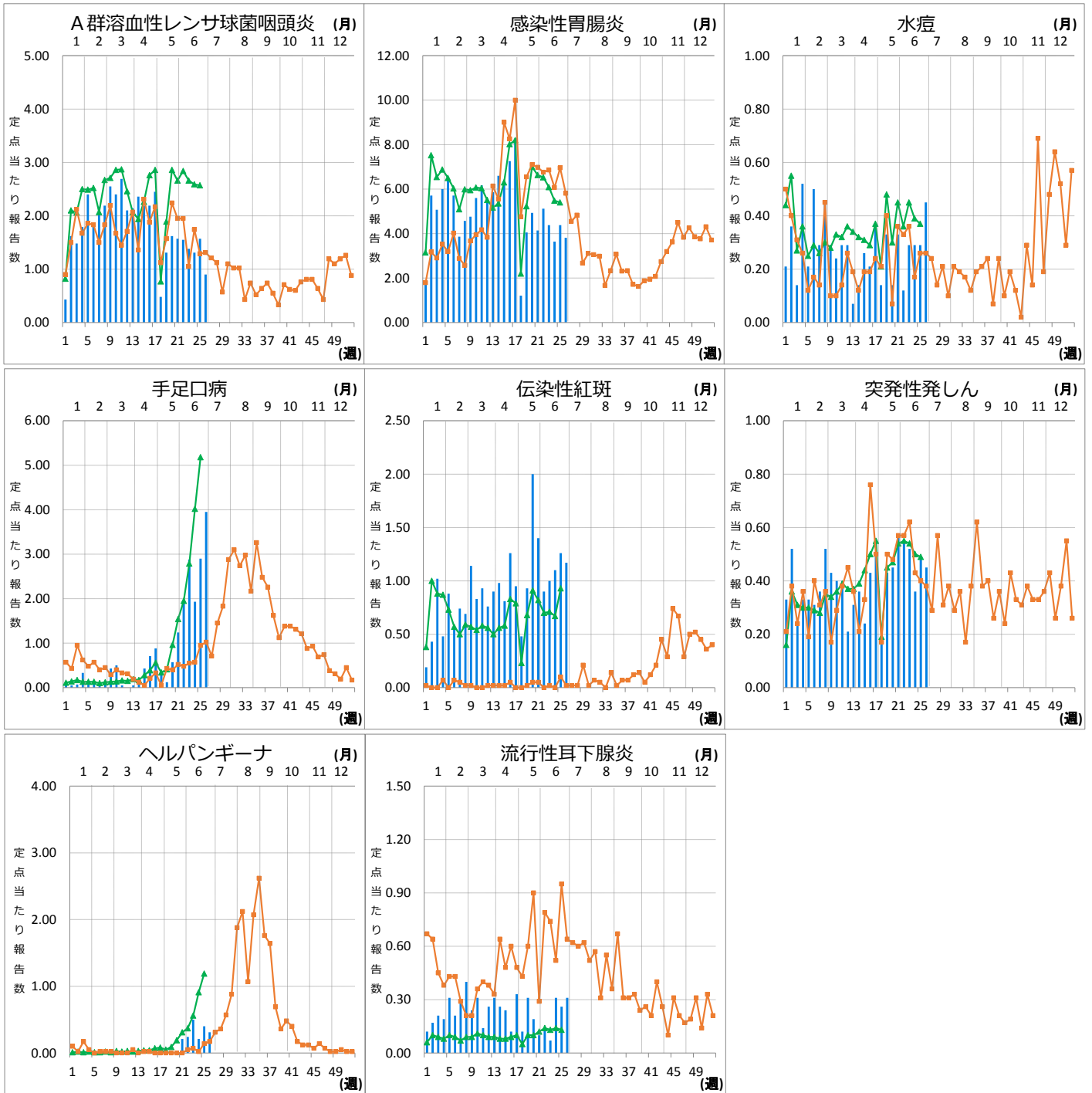
青森県（2019年第1週～第26週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	118	1	1	5	7	2	1	17	2	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	1	4	1	1	11	1	16	1	3	15

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第26週、ただし全国は前週）

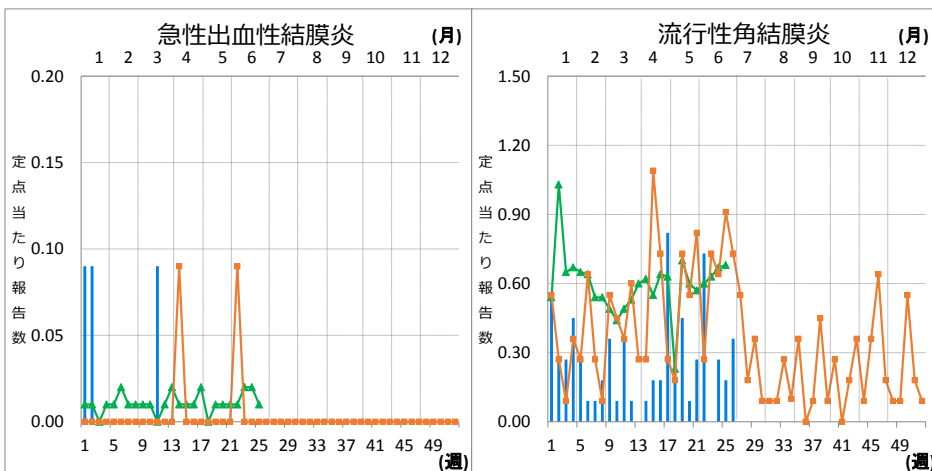
グラフの説明 ← 〇は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





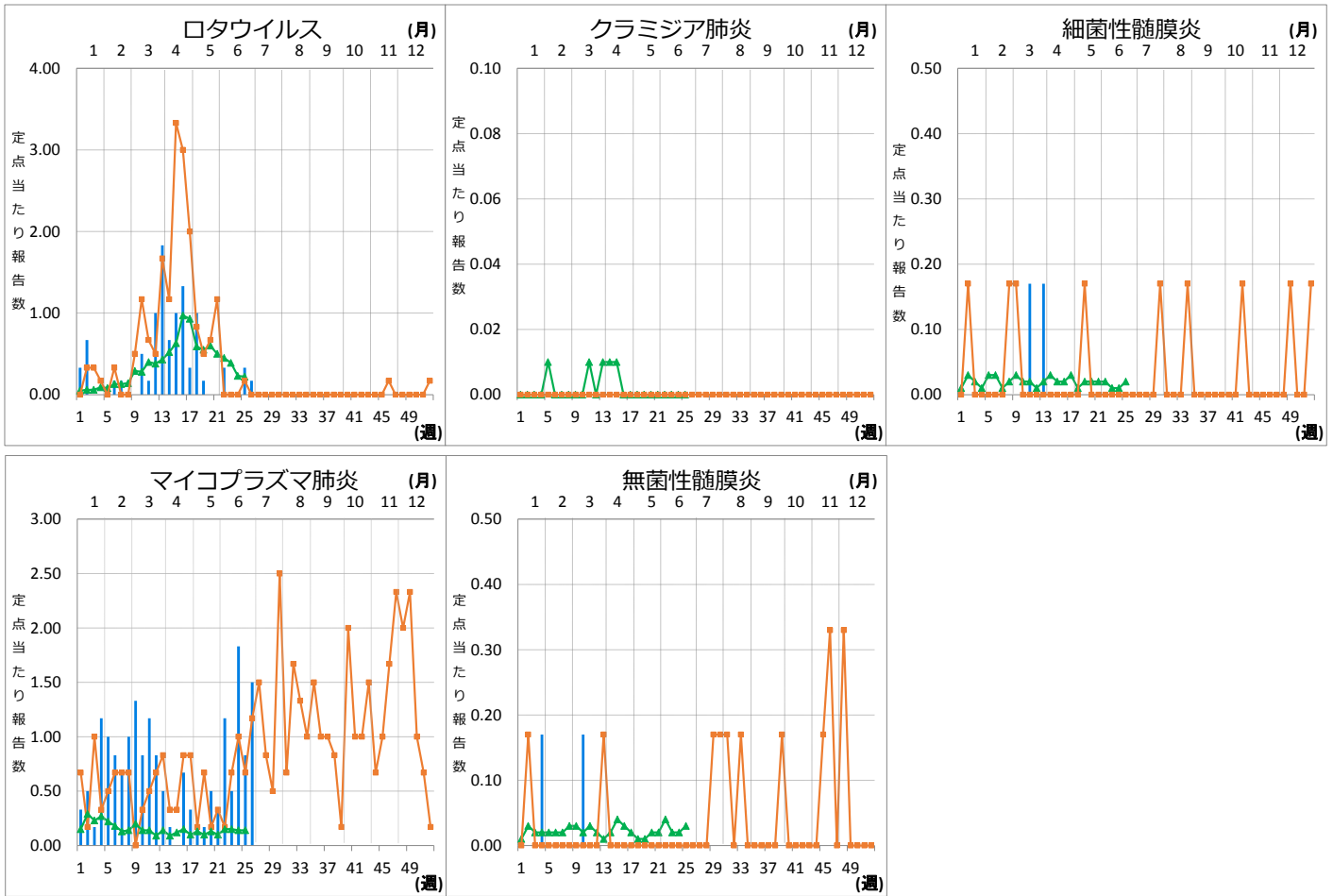
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第26週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第26週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第26週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月					2月					計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22週	23週	24週	25週	26週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	0	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	0	0	0	12
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	0	0	0	200
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	0	0	0	17
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	0	0	0	408